


令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 島根県 】

学校名【 吉賀町立柿木小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	全学年：57名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（国語・体育・道徳・総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>○東京大会に向けて、オリンピック・パラリンピックへの理解を深める。</p> <p>○福祉体験をとおして、他者への理解を深め、共生社会の構築をめざして互いに支え合おうとする態度を育てる。</p> <p>○パラ競技（ボッチャ）体験をとおして、パラ競技への理解を深めるとともに、スポーツを楽しもうとする心を育てる。</p>
5 取組内容	<p>○パラリンピアンを招いての講演会、ボッチャ体験 講師：藤田英二氏（シドニーパラリンピック陸上日本代表） 対象：講演会＜全児童＞、ボッチャ体験＜3・4年児童＞</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>○国語「パラリンピックが目指すもの」（3年）</p>

	<p>○総合的な学習の時間「福祉体験」(3年)</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○チャレンジドという言葉の意味や最後まであきらめない気持ちの大切さを、藤田氏の生き方や考え方から学ぶことができた。</p> <p>○藤田氏との関わりを契機として、オリンピック・パラリンピックについて、また、障がいについて、自分事としてとらえ、その後の学習に主体的に取り組む児童の姿が見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○実際に車いすで移動する姿や何気ない会話の中から得られるもの、感じ取るものが多いと考え、限られた時間の中ではあったが、藤田氏と児童が交流する場面(給食や休み時間など)を大切にしました。</p> <p>○講演等を導入として、3年生を中心に教科横断的に学習計画を立て、児童が主体的に学習に取り組めるように学習展開を工夫した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○藤田氏の講演やボッチャ体験、交流を、導入として学習活動を計画したが、教科横断的な視点で、各学年に応じた事前学習を実施すると、より効果的であったように思う。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○2021年東京オリンピック・パラリンピックに向け、校内掲示等で機運を高める環境を整えるとともに、コロナ禍ではあるが、社会福祉協議会等と連携し、パラ競技体験や交流の機会を設定するなどの学習活動を計画することにより、今年度の取組を継続・発展させていきたい。</p>